

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.1

推進目標	江差町の教育の推進	部門別計画(施策)	教育委員会総体		
基本事業(施策)名	教育委員会費	担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	教育委員会に係る事務				
基本事業(施策)の意図	・教育委員会の意見を聞くことによる教育行政の民意を反映した計画の決定 ・教育行政に関するより深い理解を得てもらうための啓発・周知 ・教育長が教育委員会を代表して教育委員会の対外的な活動を推進(教育長交際費) ・教育、スポーツ、文化活動において優秀な成績者への顕彰をすると共に江差町教育、文化、スポーツの発展に寄与する。(奨励賞) ・教育長とPTA会長との教育懇談会の開催				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
教育委員報酬等	1,116,520	5	5	5	
教育長交際費	117,320	5	5	5	
教育委員会表彰	56,583	5	5	5	
教育委員会の開催		5	5	5	
教育長とPTA役員との教育懇談会の開催		5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江差町教育委員会	評価	・定例教育委員会の開催ほか、町内の学校訪問・表彰式の挙行など優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。 ・昨年度策定した平成23年～平成27年度江差町教育推進計画「江差の教育を進めるために」に沿った教育政策の推進に努めた。			
	事業の方向性		さらに重点化する		
		○	現状のまま継続する		
			見直しのうえ継続する		
			事業の縮小を検討する		
外部評価委員会の意見			休止、廃止を検討する ○評価は妥当と認める。 ○平成25年度は、「江差町教育推進計画」の中間に当たり、計画の執行状況を確認し、更なる教育政策を推進すること。 ○学校・関係機関との連携を深める努力を今後とも継続すること。		

(別紙1)

江差町教育委員会

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.2

推進目標	江差町の教育の推進	部門別計画(施策)	教育委員会総体		
基本事業(施策)名	事務局費	担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	教育委員会事務局に係る事務				
基本事業(施策)の意図	・江差町奨学金運営委員会の開催、奨学金貸付の審査及び運営の助言 ・教育委員会の運営、事業の実施に係る事務、研修会等の出席、負担金等 ・教育委員会事務局職員に係る給料及び各種手当等(教育長含む13人分)				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
奨学金	6,860	5	5	5	
事務局運営費	4,206,077	5	5	5	
職員人件費	110,511,118	5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江 差 町 教 育 委 員 会	評価	・事務局運営に必要な経費(指導主事の配置等)として新たに事務補1名の配置をすることが出来た。 ・教育委員会職員の人件費を支出しており、成果が上がっている。 ・補助団体等の経理に関連し、町教委として各会計事務の定期的な監査に引き続き取り組んだ。			
	事業の方向性		さらに重点化する		
		○	現状のまま継続する		
			見直しのうえ継続する		
			事業の縮小を検討する		
		休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○職員総体で、中間年度に当たる「江差町教育推進計画」の具現化に向けて努力を続けること。 ○各種団体等への補助金に対し、監査や監理の体制を再度見直すこと。			

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.3

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進		部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	小学校管理費		担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	小学校整備、教職員住宅管理、スクールバス運行事務					
基本事業(施策)の意図	・小学校の校舎等教育環境の整備(江差小学校校舎耐震工事、屋内体育館耐震工事の実施設計及び工事費の予算化、南が丘小学校非常口等修繕工事) ・教職員住宅49戸に係る維持補修(円山教職員住宅下水道接続工事) ・江差北小学校児童のための通学バス運行					
事務事業の評価						
施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
	教職員住宅	2,020,264	5	5	4	
	スクールバス委託	7,810,080	5	4	5	
	小学校整備事業	290,670,500	5	5	5	
	町内小学校の設備保守点検	4,410,420	5	5	5	
	小学校営繕	4,258,345	5	5	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江 差 町 教 育 委 員 会	評価	・江差小学校校舎耐震工事の実施、屋内体育館耐震改修工事の実施設計、非常口等修繕工事、スクールバスの運行等、学校及び児童の教育環境整備が図られた。教職員住宅の整備については、全ての要望に応えることができなかったが、円山教職員住宅の下水道接続工事を実施することが出来た。 ・江差小学校の残耐震工事(屋内体育館)について、国の平成24年度補正予算において予算化(平成25年度繰越明許)され、平成25年度中に実施する手続きが図られた。				
	事業の方向性			さらに重点化する		
			○	現状のまま継続する		
				見直しのうえ継続する		
				事業の縮小を検討する		
				休止、廃止を検討する		
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○江差小学校体育館の耐震工事は、国の平成24年度補正において予算化、平成25年度に完成したことは非常に喜ばしいことであり、残る南が丘小学校一部校舎の耐震診断の実施に努めること。 ○学校の修繕等については、各種制度を活用し今後とも継続して取り組んで行くこと。				

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.4

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	小学校管理	担当係	学校教育課学校教育係		
基本事業(施策)の対象	小学校教育に関する学校運営及び施設管理				
基本事業(施策)の意図	《全ての児童が等しく享受することができる小学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある小学校教育の充実を図る》 ・学校に公務補を配置し、学校施設の日常管理を実施 ・教職員の定期健康診断の実施及び人間ドッグ等の費用の一部負担 ・児童の各種健診の実施 ・授業に必要な教材・教具及び学校図書の整備 ・学校施設の維持管理				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
公務補の配置	6,167,418	5	5	5	
各種健診	1,852,057	5	4	5	
教材教具・消耗品の整備	8,559,640	5	4	4	
学校管理	25,018,099	5	4	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江差町教育委員会	評価	・各学校の施設の維持管理に必要な公務補の配置や修繕費の負担及び光熱水費等の負担により快適な学校環境の整備に努めた。 ・教職員及び児童(新就学児童含む)の健診を実施し、心身ともに充実した学校運営の実施。 ・一般授業や校外活動に必要な教材・教具の整備、学校運営に必要な一般備品、消耗品等を整備することに努めた。しかしながら、一部の消耗品費において、町外業者からの購入実績が多いことへの指摘を受け、改善する必要性を痛感した。			
	事業の方向性		☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する		
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○公務補の業務の特殊性を考慮し、待遇の改善について町部局と継続して検討すること。 ○授業に必要な教材・教具及び学校図書の購入に際して、限られた予算内で有効活用を図ること。 ○学校施設の維持管理について、計画的な整備に努めること。			

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト No.5

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育			
基本事業(施策)名	小学校教育振興費・学校給食費	担当係	学校教育課学校教育係			
基本事業(施策)の対象	小学校の教育振興に係る事務					
基本事業(施策)の意図	《全ての児童が等しく享受することができる小学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある小学校教育の充実を図る》 ・教職員の加配を通じて個に応じた指導方法の工夫改善を実施し、個々の児童の学力の向上を図る。 ・ADHD・LDなどの学習障害を持つ児童に対する特別支援教育の充実 ・運動競技や外部講師による授業を通じ、心身共に豊かな児童の育成 ・低収入世帯の児童に対する学用品費や給食費等の援助 ・江差北小中学校における小中一貫教育の推進 ・「中1ギャップ」問題未然防止事業					
事務事業の評価						
施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	小学校教育振興事務	465,576	5	4	4	
	特別支援教育支援員配置	3,979,117	5	5	5	
	江差町特別支援教育連絡会議の開催		5	4	5	
	江差町基礎学力向上対策会議の開催		5	4	5	
	退職教員等外部人材活用事業		5	4	4	
	要保護・準要保護生徒援助	3,140,335	5	5	4	
	小中一貫教育推進・「中1ギャップ」問題未然防止事業	649,720	5	4	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)						
増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評 価	・町内の各学校に特別支援学級が設置されているが、普通学級においても学習障害、自閉症等で学校生活及び授業において支援を要する児童が在籍しており、支援員を配置することにより、円滑な学校・学級運営に資することができる。平成24年度においては、江差小学校・南が丘小学校に各1名配置し、学校からは配置の継続、増員を要望されている。 ・低所得世帯等への就学に要する学用品費及び給食費を支給することにより、義務教育の機会均等を図っている。 ・心身ともに豊かな児童の育成を目指すことを目的に、小体連の運営を補助した。 ・各種教育団体への補助を通じ、学校及び教職員の研修意欲を高めた。 ・教職員以外の外部の人材を活用し授業を行い、児童の興味、関心をひく授業を行っている。 ・小中一貫の意義の習得及び教師及び地域住民の気運の高まりが図られた。 ・「中1ギャップ」未然防止事業については、北海道からの委託事業であるが、小中一貫教育を推進する上では共通する部分もあり、小・中学校の円滑な接続に更なる期待と成果を望むことが出来た。 ・江差町基礎学力向上対策会議を開催し、各学校の取り組み紹介や進捗状況の意見交換が図られた。				
	事業の方向性		さらに重点化する ○ 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○特別支援教育支援員については、益々その必要性が高まっている中で、1名が増員となり各小学校に配置されたことは評価できる。 ○教職員に対する町独自の研修の継続を含め、教職員の各種研修についてより積極的に取り組み、教職員の質・指導力の向上を目指すこと。 ○児童の学力向上等を図るため、国・道の制度を活用し、TTや習熟度別事業等の取り組みを継続すること。 ○虫歯予防を目的としたフッ化物洗口の取り組みを図ること。 ○中1ギャップ問題未然防止事業も包括する小中一貫教育推進事業は、学校内活動についてはかなり推進が図られていると感じられるが、更に地域の目に見えるような具体的な形として示すべき時期と考える。				

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.6

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	中学校管理費	担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	中学校整備、スクールバスの運行事務				
基本事業(施策)の意図	・中学校の校舎等教育環境の整備(江差北中学校増築整備、江差中学校改築基本・実施設計、江差中学校改築整備の予算化) ・江差北中学校生徒のための通学バス運行				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
中学校教育環境整備事業	68,989,380	5	5	5	
スクールバス委託	7,729,190	5	4	5	
町内中学校の設備保守点検	696,780	5	5	5	
中学校営繕	883,393	5	5	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江差町教育委員会	評価	・特別支援学級入級を控え、教室数の不足が見込まれる江差北中学校の増築整備等が図られた。また、江差中学校の老朽化に伴う基本・実施設計も完了し、国の平成24年度補正予算において予算化され、平成25年度より3ヶ年計画(校舎・屋内体育館2ヶ年、外構1ヶ年)にて改築工事を実施する運びとなった。 ・時数は限定であるが、休日の部活動にも対応出来るスクールバスの運行が図られた。			
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○江差中学校の改築に向けては、国の平成24年度補正において予算化、平成26年度に新校舎の完成に向けた工事が着工されたことは非常に喜ばしいことであり、学校備品等についても中学校と十分協議・確認した上で整備することを望む。 ○学校の各種修繕等については、各種制度を活用し今後とも継続して取り組んで行くこと。			

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.7

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	中学校管理	担当係	学校教育課学校教育係
基本事業(施策)の対象	中学校教育に関する学校運営及び施設管理		
基本事業(施策)の意図	《全ての生徒が等しく享受することができる中学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある中学校教育の充実を図る》 ・学校に公務補を配置し、学校施設の日常管理を実施 ・教職員の定期健康診断の実施及び人間ドッグ等の費用の一部負担 ・生徒の各種健診の実施 ・授業に必要な教材・教具及び学校図書の整備 ・学校施設の維持管理		

事務事業の評価

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
公務補の配置	6,200,576	5	5	5	
各種健診	952,069	5	4	5	
教材教具・消耗品の整備	5,823,662	5	5	4	
学校管理	9,133,040	5	4	4	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

江 差 町 教 育 委 員 会	評 価	・各学校の施設の維持管理に必要な公務補の配置や修繕費の負担及び光熱水費等の負担により快適な学校環境の整備に努めた。 ・教職員及び生徒の健診を実施し、心身ともに充実した学校運営の実施。 ・一般授業や校外活動に必要な教材・教具を整備することが図られた。また学校運営に必要な一般備品、消耗品等を整備するとともに、学校図書の充実(前年予算額より5万円増)を図り、読書活動の推進に努めた。												
	事業の方向性	<table><tr><td></td><td></td><td rowspan="5">さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する</td></tr><tr><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する		○							
		さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する												
	○													
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○公務補の業務の特殊性を考慮し、待遇の改善について町部局と継続して検討すること。 ○授業に必要な教材・教具及び学校図書の購入に際して、限られた予算内で有効活用を図ること。 ○学校施設の維持管理について、計画的な整備に努めること。 ○国の制度等を活用しながら、楽器等通常整備しづらい高額な備品等の整備をより図る一方、整備されている備品についてのメンテナンスなどの管理を徹底すること。												

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.8

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育			
基本事業(施策)名	中学校教育振興費・学校給食費	担当係	学校教育課学校教育係			
基本事業(施策)の対象	中学校の教育振興に係る事務					
基本事業(施策)の意図	《全ての生徒が等しく享受することができる中学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある中学校教育の充実を図る》 ・部活動などを通じ、心身ともに健康で豊かな生徒の育成 ・低収入世帯の生徒に対する学用品費や給食費等の援助 ・中学校和楽器整備 ・中学校学習指導要領対策					
施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	中学校教育振興事務	128,750	5	4	4	
	中体連等出場補助	1,055,881	5	4	3	
	スクールカウンセラー活用事業		5	5	5	
	要保護・準要保護生徒援助	2,636,635	5	5	5	
	中学校和楽器整備	2,442,772	5	5	5	
	中学校学習指導要領対策	2,925,172	5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)						
増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評 価	・特別支援教育を必要とする生徒は増加しておりそのニーズは高まっていることから、引続き支援員の配置要望を続ける必要がある。 ・低所得世帯等への就学に要する学用品費及び給食費を支給することにより、義務教育の機会均等を図っている。 ・心身ともに豊かな生徒の育成を目指し、また、保護者の負担を軽減することにより生徒が積極的に中体連や吹奏楽祭などに出場できるよう経費の一部を補助している。(団体競技の全道大会等の出場の減) ・平成24年度より中学校音楽科に和楽器が必修科目となったことから、両中学校に和楽器(文化琴)の整備が図られた。 ・中学校学習指導要領の内容が大幅に変更となり、教育内容や教科指導に求められる内容も大きく変更され、使用する教科書の変更もあったことから、生徒の学力確保のための標準的指導内容の把握と更なる充実のために教師用指導書の整備が図られた。				
	事業の方向性	○	さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○中学校においては、現在、特別支援教育支援員の配置はないが、高校においても特別支援教育に取り組まれている状況や小学校からの児童の進学に伴い、そのニーズは確実に高まっていると考えられるので、中学校にも支援員の配置を図ること。 ○教職員に対する町独自の研修の継続を含め、教職員の各種研修についてより積極的に取り組み、教職員の質・指導力の向上を目指すこと。 ○武道(柔道)の授業導入に伴う事故等に十分対応した体制を今後も構築すること。 ○スクールカウンセラー活用事業における「心の専門家」としての教育相談体制の更なる充実と、その利用状況や傾向と対策についての把握に努めること。				

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.9

推進目標	幼児教育の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	幼稚園管理費	担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	幼稚園に係る運営管理、事務				
基本事業(施策)の意図	・私立幼稚園への就園奨励費補助 ・江差幼稚園に対する運営費の一部補助 ・幼稚園教諭の出張、休暇等の際の代替教諭の雇用 ・あすなろ幼稚園事務(園長の報酬、運営に係る経費、施設の維持及び管理に係る経費、研修会等の参加)に係る経費 ・幼稚園舎の耐震改修工事の実施完了				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
幼稚園管理	4,760,840	5	4	4	
幼稚園代替教諭	241,900	5	5	5	
私立幼稚園就園奨励費補助金	994,500	5	5	4	
私立幼稚園運営補助	513,000	5	5	5	
幼稚園体験入園(未就園児対象)		5	5	5	
幼稚園整備事業(耐震改修工事)	24,571,000	5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江差町教育委員会	評価	・私立幼稚園への運営、事業費補助及び幼稚園就園奨励費補助金を支出し、幼稚園の安定的経営、保護者の負担軽減が図られた。 ・あすなろ幼稚園に係る運営体制を維持し、幼児教育の充実が図られた。また、未就園児を対象に、幼稚園体験入園を開催するなど、少子化の中、前年度並みの幼稚園児確保の取り組みが図られた。 ・江差小学校校舎と一体化している幼稚園舎の耐震改修工事の実施完了をすることが出来た。			
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○現在の少子化の進展を見据え、将来的な幼児教育や保育のあり方について、町部局との検討を継続すること。			

(別紙1)

江差町教育委員会

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.10

推進目標	家庭・地域の教育力の推進	部門別計画(施策)	学校教育			
基本事業(施策)名	奨学金貸付事務	担当係	学校教育課総務係			
基本事業(施策)の対象	奨学金の貸付事務					
基本事業(施策)の意図	・江差町に住所を有する者の子女で、高校、高等専門学校及び大学に進学を希望するも経済的理由により就学困難な者に対し、学資を貸与し、もって有能な人材の育成と確保を図る。 ・滞納整理の実施					
事務事業の評価						
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考	
奨学金貸付	3,380,000	5	4	5		
奨学資金積立金	3,575,610	5	4	4		
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江 差 町 教 育 委 員 会	評価	・新規貸付については、採用枠を越える申請があり、基準値を下回った計8名(大学等2名、高校等6名)に就学に必要な奨学金を貸付し、保護者の負担軽減を図ることができた。 ・継続貸付者(大学等2名、高校等6名)への奨学金を貸付 ・償還金の滞納整理の実施に一層の努力が必要である。				
	事業の方向性		さらに重点化する			
		○	現状のまま継続する			
			見直しのうえ継続する			
			事業の縮小を検討する			
外部評価委員会の意見			休止、廃止を検討する			
		○評価は妥当と認める。 ○社会保障制度の見直し等による、社会的変化に対応した制度設計の検討を今後も継続して取り進めること。 ○奨学金の滞納整理について、滞納防止対策の更なる推進を図りながら、尚一層の滞納整理に努めること。				

平成24年度

施策評価シート

No.11

推進目標	子ども達の夢を育み、地域全体で支える 青少年・家庭教育活動の充実	部門別計画（施策）	社会教育			
基本事業（施策）名	社会教育総務費、生涯学習推進費	担当係	社会教育課社会教育係			
基本事業（施策）の対象	①江差の特色を生かした青少年・家庭教育の充実 ②青少年健全育成のための安全安心な環境整備 ③親子の絆を深める子育て支援の充実					
基本事業（施策）の意図	1-1 郷土の自然や文化、歴史に感動する学習活動、体験機会の拡充 1-2 各種団体、組織などの活動を活用した体験、世代間交流機会の拡充 2-1 学校・家庭・地域が一体となった青少年健全育成活動の充実 2-2 ふるさとの一員として郷土愛を実感できる機会の拡充 2-3 家庭・学校・地域の教育力の向上 3-1 家庭の教育力を高める学習機会の充実 3-2 子育て支援環境の充実					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
社会教育総務費・生涯学習推進費事業（計No.11～12同額）		8,753,121				
1-1	冒険王クラブ活動		5	5	4	
1-2	少年ふるさと学習（追分・尺八）、ふるさと江差発見学習、子ども百人一首大会		5	5	5	
1-2	少年の主張江差町大会、ジュニアリーダー派遣など		5	5	5	
2-1	各中学校区健全育成活動の支援、スクールガードの定着、子どもの居場所づくり		5	5	4	
2-2	成人式・新成人を祝う会、古談トーク		5	5	5	
2-3	三愛運動活動定着への支援、早寝・早起き・朝ごはん活動定着への支援		5	5	5	
3-1	江差町PTA研究大会等の支援		5	5	4	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評価	○少年教育は、学校教育との融合により、町内全校における「江差追分」学習のほか、江差町の文化財施設見学や歴史を学ぶ「ふるさと江差発見学習」など郷土愛を育む授業を展開している。また、追分学習のほか、江差北中による尺八学習、社会教育事業の「いにしえトーク」などに地域の人材を講師として活用し、地域と一体となった少年教育事業の推進が図られた。 ○青年教育は、多くの青年層が進学や就職で町外に流出している中、成人式等に参加・交流することで、ふるさと江差の良さを再認識できる機会を提供している。 ○「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みを推奨するため、保育園・幼稚園の全園児へ絵本つきリーフレットを配布したほか、健全育成会議や学校と連携した意識高揚を図り、家庭教育の向上に努めている。 ○江差町青少年健全育成会議が中心となって、子どもの見守り活動やあいさつ運動を積極的に取り組んでいることや、スクールガード研修会を開催し、町民の意識高揚も図るなど安全安心なまちづくりを推進している。 ○町教委、青少年健全育成会議、PTA連合会が共催して「家庭教育支援事業・PTA研究大会」を開催し、教育課題等を共有することによる家庭教育の向上と支援を図っている。また、社会教育事業実施にあたり、「親子参加型事業」を展開し、親子の絆を深める子育て支援の充実に努めている。				
	事業の方向性		さらに重点化する ○現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は、妥当と思われる。 ○江差町の特色を活かした青少年の教育に重きを置くことが重要と考える。従って、「ふるさと江差発見学習」の学校との連携による継続推進及び教育の基本である「家庭教育」の向上に努めること。				

平成24年度

施策評価シート

No.12

推進目標		活気があり、人々が支え合い安心して生きる成人教育の充実		部門別計画（施策）		社会教育	
基本事業（施策）名		社会教育総務費、生涯学習推進費		担当係		社会教育課社会教育係	
基本事業（施策）の対象		①現代的課題に対応する学習活動の拡充 ②地域住民が支えあい学びあう地域活動への参加					
基本事業（施策）の意図		1-1 多様化、高度化する学習ニーズに応える学習、活動環境の充実 1-2 中高年、高齢者の学習機会、世代間交流機会、社会参加の充実 2-1 ボランティア活動への支援 2-2 協働のまちづくりの実践 2-3 地域間交流、国際交流の推進					
事務事業の評価							
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
社会教育総務費・生涯学習推進費事業（計No.11～12同額）			8,753,121				
1-1	社会教育団体(文化協会・体育協会等)への活動支援			5	4	4	
1-2	シニアカレッジ 江差学園の推進、えさしスクールの開催			5	5	4	
2-1	ボランティア団体への支援と連携			5	4	4	
2-2	江差学の推進			5	5	5	
2-3	国際留学生の集い、ホームステイ先の受入			5	4	3	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1							
江差町教育委員会	評価	○社会教育団体の活動については、生涯学習センター廃止後、活動拠点をまなびっく等に移転しており、施設使用料の一部助成を行い、スポーツ・文化活動の継続が図られるよう支援している。 ○シニアカレッジについては、55名が在籍し、年間20強の講座を例年実施している。生涯学習活動の還元観点から、学園行事である「学園祭」には町内の小学生を招いて自らが講師となって体験活動を指導する世代間交流も実施しており、活動の充実が図られている。えさしスクールについては、江差学や関係団体事業と連携を図り実施を検討したい。 ○江差学は平成24年度から本格的に始動し、5講座で150名参加と町民ニーズの高い事業となっている。地域住民を講師に、協働のまちづくりの効果的な実践と、成人層における郷土学習の推進が図られた。 ○国際交流活動は、7月29日から8月2日の日程でドイツからのスポーツ少年団リーダー7名の受入を行い、期間中江差らしい体験をいただいたほか、地元空手少年団と武道交流を実施し、スポーツを通じた国際理解教育の推進が図られた。国際留学生の受入は、24年度の実施はなく、ホームステイ先の確保が引き続き課題とされる。					
	事業の方向性		☐	さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は適当と認める。 ○オーストラリアとの交流が途絶えて久しいことから、何らかの事業復活に期待するとともに、留学生受け入れのための環境整備に努めること。					

平成24年度

施策評価シート

No.13

推進目標	学び続け、自らを高め、明日を拓く 読書推進活動の充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名	図書館費	担当係	図書館図書係			
基本事業（施策）の対象	①資料収集・提供 ②全域サービス ③すべての世代への読書推進					
基本事業（施策）の意図	1-1 資料・情報の収集と提供 1-2 学習支援・レファレンス機能の充実 1-3 読書環境整備と利用促進 2-1 移動図書館車の運行 2-2 配本所設定 3-1 ブックスタート及び関連事業 3-2 学校との連携 3-3 高齢者へのサービス					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	図書館費事業	6,953,189				
1-1	学習要求に応じた資料の購入・収集		5	4	4	
1-2	道立図書館等との相互貸借、広域利用による利用圏拡大		4	4	4	
1-3	年末特別貸出、テーマ展示、読書週間、クリスマス会		4	4	4	
2-1	移動図書館車の運行		4	4	4	
3-1	利用拡大		5	4	4	
3-1	両親学級、ブックスタート、あそびの広場		4	4	4	
3-2	団体貸出、調べ学習・利用体験の支援、学校との連携		4	4	4	
3-3	高齢者向け大活字本の収集		4	4	4	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 概ねできている場合 4 できている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評価	○資料費不足により住民の学習意欲に十分に答えられていない部分があるものの、相互貸借や横断検索等の図書館機能を発揮するための工夫をしている。 ○移動図書館では、ステーションを再編成し、またイベントの参加で事業のPR効果が得られた。 ○ブックスタート及びフォローアップ事業では子どもの発達段階に応じた取組みがなされ、乳幼児期から継続して本に親しむ環境の整備で、図書館利用にもつながっている。更に、ボランティアの積極的な活動により家庭教育・学校教育との連携が進んでおり、需要の増加に対応できるよう人材の養成と研修が必要とされる。 ○一人当たりの貸出し冊数が全道平均を下回っていることから、24～26年度の期間で利用促進を図るため、広報やホームページでの情報発信、事業所への呼びかけ等、更なる対策が必要である。				
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○1人当たりの貸出し冊数の増加を目指した強化年の最初の年であったが、今後も引き続き、利用者に対して促進向上のための様々な対策を講じていくこと。				

平成24年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.14

推進目標	ふるさと江差の文化を高め、心豊かに生きる 芸術文化活動 の充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名	文化会館管理費・文化振興費	担当係	社会教育課社会教育係			
基本事業（施策）の対象	①芸術文化活動に対する支援 ②芸術文化に親しむ機会拡充及び文化会館利用促進 ③芸術文化環境の整備充実					
基本事業（施策）の意図	1-1 芸術文化活動への支援 1-2 芸術文化を活用した交流機会の充実 2-1 舞台芸術などの鑑賞機会の充実 2-2 大規模コンベンションの誘致 3-1 芸術文化環境の管理運営 3-2 施設管理の充実					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
	文化会館管理費・文化振興費事業	34,880,314				
1-1	江差町文化協会の運営と支援		5	5	4	
1-1	みちくさ事業(ギャラリー・コンサート)、みちくさ事業との合同発表、管内文化団体連絡協議会事業への参加支援		5	5	5	
1-1	江差町文化祭		5	5	4	
2-1	舞台公演・各種大会等の開催誘致、舞台発表行事への支援		5	3	3	
3-1	指定管理者制度導入による貸館業務の充実		5	5	5	
3-2	文化会館施設の維持、舞台環境の維持		5	5	4	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評 価	○文化協会加盟団体及び町民による芸術文化活動の発表の場として、町民文化祭や「みちくさギャラリー及びコンサート」を開催している。今後においても、団体等と協議し、内容の見直しと充実を図りながら、活動支援に努めたい。 ○江差町文化会館は、民間能力を活用し快適で利用しやすいホールを目指し、貸館業務と施設管理の充実を図るため、23年度より指定管理者制度を導入している。施設の利用人数については増加傾向にあり、今後も双方協議の上、利用拡大と施設充実につなげていきたい。 ○江差追分全国大会や防災講演会をはじめとした江差町行事での活用のほか、学校における吹奏楽の定期公演や文化団体の発表など舞台行事における文化会館の活用が図られている。今後においては、児童生徒の情操教育のための舞台鑑賞や町民の芸術鑑賞機会の充実に向けた積極的な取り組みが課題とされる。 ○江差町文化会館は20年以上が経過し老朽化が進んでいる。24年度は小ホール調光卓の更新のほか、避難路鋼製格子戸の撤去取替、各種ドアのフローヒンジ取替、地下タンク補修、音響設備更新などを行い、施設及び舞台設備の充実を図った。				
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☐ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○文化会館の有効活用を図り増収に努めること。また、施設も老朽化してきていることから不具合が生じた場合には、適切な維持管理に努めること。 ○指定管理者としての視点から、独自の企画運営を模索させること。 ○子ども達が、心豊かに成長するための情操を育むため、舞台芸術に触れる機会を提供するよう努めること。				

平成24年度

施策評価シート

No.15

推進目標	ふるさとの自然と、貴重な文化遺産を未来に伝える文化財・博物館活動の充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名	文化財保護費	担当係	社会教育課地域文化係			
基本事業（施策）の対象	①ふるさとの資料を集める ②ふるさとのについて調べる ③ふるさとのについて発信する					
基本事業（施策）の意図	1-1 町内文化財の把握や町内外の資料収集と保管 2-1 調査・収集した事柄について町民とともに調査 3-1 調査・収集した事柄について町内外に発信					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	文化財保護事業費	11,549,459				
1-1	文化財の把握、郷土資料の収集・保管		5	5	5	
2-1	文化財の調査・保存、所蔵資料の調査・研究		5	5	4	
2-1	江差町郷土資料館友の会への協力		5	5	4	
3-1	各施設の常設展・企画展、教育普及活動		5	5	4	
3-1	学校との融合(追分授業・尺八授業・ふるさと学習)		5	5	5	
3-1	インターネットによる情報発信		5	5	4	
3-1	文化財施設の維持管理		5	4	4	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評価	○幕末期における厚沢部川流域の水田開墾に関する資料群の寄贈を受け、整理作業を行い、資料の保存をすることができた。 ○旧檜山爾志郡役所（江差町郷土資料館）において、「江差追分～その伝承者たち～」と「昔の暮らしと道具展」の2本の企画展を開催し、町内外の人々に見学してもらうことができた。 ○江差学を立ち上げて5回の活動を行い、町民の研究成果を公表し、町民の郷土理解を進めることができた。 ○町内の全小中学校における江差追分の学習や、江差追分全国大会における江差北中学校生徒の尺八演奏を行い、郷土の伝統に触れる機会を提供することができた。 ○旧中村家住宅の正面漆喰壁・庇瓦の修理を行い、文化財の保全をすることができた。				
	事業の方向性		☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○旧檜山爾志郡役所を多くの人に観てもらおうよう観光業者等に情報発信し来場者の増加を図ること。 ○江差学の継続的な取り組みを推進すること。				

平成24年度

施策評価シート

No.16

推進目標	健康で楽しく、さわやかに生きる生涯スポーツの充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名	保健体育総務費、体育施設費	担当係	社会教育課社会教育係			
基本事業（施策）の対象	①生涯スポーツの推進 ②生涯スポーツの環境の整備、充実					
基本事業（施策）の意図	1-1 生涯各時期に応じたスポーツの普及 1-2 地域の特色を生かしたスポーツの普及 1-3 学校体育授業及び部活動への支援 2-1 スポーツ活動の指導体制確立とスポーツ団体の育成 2-2 スポーツ施設の管理運営 2-3 スポーツ施設の有効利用					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	保健体育総務費、体育施設費事業	15,614,294				
1-1	夏休みこどもスイミングスクール、冬休みこどもスキーレッスン		5	5	4	
1-1	マイスポーツの奨励・推進、スポーツ団体・サークル活動の支援		5	5	4	
1-1	スポーツ少年団交流大会、管内スポーツフェスタ、体協まつり、マスターズ陸上江差大会など		5	5	5	
1-2	江差カップオープンヨットレース、スノースポーツ普及事業		5	4	4	
1-3	学社融合スポーツ授業、スポーツ少年団・部活動への支援		5	5	5	
2-1	スポーツ推進委員、スポーツ少年団認定養成		5	5	4	
2-1	江差町体育協会・江差町スポーツ少年団本部との連携		5	5	5	
2-2	スポーツ施設の管理(施設修繕・芝生整備含む)		5	5	4	
2-2	AEDの設置、普通救命講習の開催		5	5	5	
2-3	体育協会加盟団体及びスポーツ少年団への支援、学校体育開放事業		5	5	5	
2-3	江差港マリナ・開陽丸センターとの連携、まなびっく(体育館)との連携		5	5	5	
2-3	施設の専門性・地域の特色を生かした合宿・大会誘致		5	5	5	
	学校給食センター負担金	37,904,000				
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評価	○生涯スポーツである水泳及びスキーの技術習得のための教室を行い、少年期における体力向上対策と長期休暇中におけるスポーツ機会の提供を図った。 ○各スポーツ施設において、老朽における補修箇所が多くある中で、計画的な補修に努め、長寿命化を図っている。しかし、野球場等の一部設備に大規模修繕が必要とされる箇所も生じてきているため、改修方法や経費捻出等協議検討が必要とされる。 ○運動公園管理人及び水堀町民プール管理人を対象に普通救命講習を実施し、安全管理の確保に努めている。 ○ライフスタイルが多様化する中で、多種多様なスポーツや健康づくりの気運を高めるために、体育協会やスポーツ少年団と連携しながら、各世代におけるスポーツ機会の提供と町民皆スポーツの推進を図ることが必要とされる。 ○江差町の雪解けの早さといった気候的特色も生かしながら、春の大学や企業の野球合宿をはじめ、年間を通じた大会や合宿の誘致が図られた。今後においても、施設の有効活用や地域経済効果への波及のため、積極的誘致を図りたい。				
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☐ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○野球場やサッカー等の施設をもっと町外にアピールし、有効活用の増進と収益を上げて運営費に充当するよう努力すること。				